



# 教育振興だより

八幡平市教育委員会  
教育振興運動推進事務局  
令和6年3月号 No.5

## 「孤」育てにしない！ 地域ぐるみの教育を！

### 推進大会に244名の参加！ 熱気あふれる会場

去る2月17日(土)午前9時45分から約2時間、西根地区市民センターで行われました。市長、議長はじめ議会議員、教育委員、社会教育委員、学校関係、コミセン等地域関係者、100名以上の保護者が集まりました。貴重な休日にこれだけ集まれる事実がすばらしいですね！



左の写真は全体の進行役を務めた西根一中2年の大和桜香さん(左)と伊藤和さん(右)です。アドリブを加えながら進行し、会は和やかな雰囲気になりました。

各発表からは、関係者の努力と地域の理解によってたくさんの活動が行われ、子ども達の体験を豊かにしたことが分かりました。地域で子ども達の活動を支えている皆様に感謝申し上げます。

また、託児室も初開設。11人が利用しました。

開会	9:45	1 開会(荒川孝之)
		2 会長挨拶(伊藤喜代美)
		3 祝辞 市長 佐々木孝弘様
報告	9:55	子どもに豊かな体験を 事務局 (藤嶋茂美)
発表	10:05	平笠実践区 PTA 会長(高橋勝元)
	10:20	安代実践区 副会長(小山田幸雄) 馬場杏 佐藤海咲・佐藤りお・佐藤陽真
	10:35	田頭コミセン センター長 平野正則
	10:50	休憩
発表	11:10	平館高校 岩崎結人 伊藤優笑 遠藤平菜綺
発表	11:30	表彰 ・三行詩 ・児童生徒表彰
	11:55	閉会の言葉(田代貴典)

本当に「地域ぐるみ」になっていますか？それぞれの班で地域の人や組織と結びついていることが大事です。

平笠実践区の三行詩への応募数(市民の部)は36。全体の37%を占めます。(拍手👏) 夏休みには、各家庭で親子ともどもつくります。

小中学生が発表に参加してくれました。観衆の表情が笑顔になりました。コミセンとの連携は、実践班組織へのコミセン関係者の参加によって実現しています。

コミセンが関わることによって、子ども達の笑顔がふえています。学校運営協議会、地域の子ども会と連携して活動を充実させたいです。コミセンの可能性は大きいです。

地域に伝わる「ムラサキ」を増やす活動やその認知を広げるための「紙芝居」の取組を紹介。研究的な発表に参会者から賞賛の声が寄せられました。



# 三行詩 入賞作品決定

1103作品から選ばれた6作品のみ紹介します。すべての入賞作品が掲載された「入賞作品集」は各コミセン、八幡平市HP等で見るができますし、ご希望の方は教育総務課にお問い合わせください。

また、昨年に引き続き春から夏にかけて巡回展をする予定です。

協議会長賞

またきようもしかられた  
でもこころのなかでいつているよ  
「ごめんさい」  
どんなにおこられてもおもってるよ  
「ママ だいすき」



小学校高学年の部 金賞

ぼくの頭はつるつる坊主  
だけど三日坊主は卒業したい  
早おきするぞつづけるぞ

中学生の部 金賞

黄金色に輝く稲  
風に吹かれて  
楽しそうに笑ってる  
私はこの風景が  
大好きだ



小学校低学年の部 金賞

一人でゲームするより  
かぞくでおしゃべり  
ぼくのハート レベルアップ

一般の部 金賞

いつもの朝の散歩道  
迎えてくれるのは  
あぜ道の小さな花  
ふるさとの大きな山  
元気な登校中の子どもたち



高校生の部 金賞

いろいろな形のやさしさ  
とんがりだったり 丸かったり  
個性いっぱい  
育てていこう 自分のかたち

## 第3回常任委員会

去る2月27日（火）午後3時から市役所で開催しました。主な内容は以下の通りです。

- ①推進大会
  - ・次年度から会場を西根市民センターに固定する。（駐車場、運営しやすさ等々）
  - ・児童生徒表彰の単独開催について検討する。
- ②次年度の方針
  - ・今年度の方針を継続して、地域は体験活動の充実、行政はそれを支える活動を充実させる。
  - ・放課後や休日の子どもの居場所づくりについて、校庭利用の奨励には限界がある。コミセンでの取組も進められている。地域の公共施設の活用が図られるといい。

